



第40号

港北区体育指導委員
連絡協議会広報紙

活き生き体指

KOHOKU

No.40

平成23年3月30日発行
 発行者 港北区体育指導委員連絡協議会
 編集 港北区体指広報委員会
 事務局 横浜市港北区大豆戸町26-1
 横浜市港北区役所地域振興課内
 ☎ 045-540-2241
 FAX 045-540-2245

第26回港北駅伝大会



第26回港北駅伝大会優勝！

綱島連合Aチーム主将 土井利幸

チームが優勝できた事は、選手の頑張りはもちろんですが、監督をはじめ体育指導委員の方々のサポートが多々あった事、御礼申し上げます。

昨年の初夏、練習の召集がありました。大会はまだ先で選手が集まるか不安でしたが、ひと回り大きくなった子ども達や、気合の入った大人達が集まり、皆、監督の熱意を感じていたようです。最終的には昨年以上の参加者で、人数が多いのは楽しく、特に子ども達は苦しい練習の中にも笑顔が多い練習となりました。

駅伝当日は監督の予想通り順調にタスキを繋いでいきました。皆が声援を送り、練習を通じた一体感が生まれたように感じました。ただ途中までは優勝できる実感はなく、走っている選手を応援するのが精一杯でした。最終9区の選手が他のチームを引き離して走っているのを見たとき、初めて優勝の二文字を確信し、ゴールテープを切って現実となりました。

今回、優勝できて嬉しく思うと共に、練習から当日までのチームの結束や人々の協力を感じ、地域のより明るい未来を想像する事ができました。関係の方々、本当にありがとうございました。



▲綱島連合優勝

●大会結果

区間	距離(km)	氏名	チーム名	記録
1区	4	野口 政春	樽町スターズ	15:10
2区	1	矢野 愛弓	太尾連合A	4:24
3区	1	松尾 俊志	高田B	3:50
4区	4	石井 徹治	篠原A	14:32
5区	1	太田 海利	綱島連合Bチーム	4:19
6区	3	山端 百合恵	綱島連合Aチーム	11:29
7区	4	新田 龍宏	綱島連合Aチーム	13:53
8区	1	古閑 瑞菜	綱島連合Bチーム	4:15
9区	3	岡崎 彩乃	新羽さわやか	11:35

区間賞をとったみんなの声

区間賞をとった喜び

網島連合Bチーム 5区 網島小学校3年
おおた かいり
太田 海利

ぼくは、港北駅伝大会で区間賞をとりました。練習の時に「区間賞をとる」と言ったことが、まさか本当になるとは思いませんでした。はじめて区間賞になったことを聞いたとき自分が一番びっくりしました。はじめて駅伝大会に出てきんちょうしました。でもその分、区間賞になってすごくうれしかったです。今年よりもっと練習して来年も駅伝のせん手になって区間賞をとりたいです。



駅伝大会で学んだこと

高田Bチーム 3区 高田小学校6年
松尾 俊志

ぼくは、第26回港北駅伝大会に高田町内会Bチームの一員として出場し、3区の区間賞を獲得することができ、とてもうれしくまた貴重な経験をすることができました。駅伝はチーム競技なので二区の選手から受け取ったたすきを少しでも順位を上げて次の選手に渡すことができるように、一生懸命走ったのがよい結果につながったと思います。またこの経験を生かし、これからいろいろなことに挑戦していきたいです。



第24回 港北区

第24回港北区グラウンドゴルフ大会地区優勝

網島地区 Aチームメンバー 樋口 守男

第24回港北区グラウンドゴルフ大会の参加チームの中で私共網島連合が、くしくも地区優勝できたことをまずは喜びたいです。これも継続した練習と幸運がもたらしたものと言えそうです。グラウンドゴルフの仲間に加わるようになって、日ごろ社会参加が疎遠になりがちのなかで、大勢の仲間ができてあたかも現役復帰できたかのような気分になり、喜びが湧いてきます。一方、とかく家にこもりがちで体力も日々退化しつつある私たちの年代にあっては、このグラウンドゴルフは運動量も負担が少なくしかも体力増進にも大いに役立ち、ルールもさほど複雑でないので打って付けのスポーツと言えそうです。

このグラウンドゴルフは、他のチームとの試合でなければ、仲間との間にもとめられる礼儀と秩序をまもり、和気あいあいにたがいの出来不出来を心おきなく論評しながら、楽しめる最適なスポーツだと

も言えます。最後になりましたが、大会開催の綿密な段取りに携わってくださったおおぜいの皆さま方に感謝しつつ、厚く御礼申し上げますとともに、次回の大会にも参加することができますよう宜しくお願いいたします。



▲網島連合優勝

網島連合Bチーム 8区 網島小学校5年

古閑 瑞菜

掲示板を見た時、驚きと共に達成感を覚えました。今まで沢山練習をしてきたかいたががあったなあ。と思います。また、練習の時、いろいろと教えてくださったかんとくのおかげだと思います。

私は、今年がはじめての駅伝でした。去年はおいしいところで出場ができなかったのが、今年こそは！と思い、練習にはげみました。これからも走り続けていきたいです。6年生になったら2年連続区間賞を狙います。



太尾連合Aチーム 2区 太尾小学校3年

矢野 愛弓

私は、今回はじめて駅伝大会に出場することができました。練習でつるみ川の土手を1km走ってタイムをはかったりして、さいしょは男女で4分02秒でした。そのときに1位になってうれしかったので、本番でも全力でがんばりました。そのけっか区間賞をとることができました。チームは2位だったけれど、うれしかったです。高学年でも練習をがんばって区間賞をとりたいです。



グラウンドゴルフ大会

第24回港北区グラウンドゴルフ大会に優勝して 新吉田町会Aチーム 小澤 康宏

今大会は地区代表1チーム、一般参加3チームで応募しましたが、一般参加は3チームとも抽選で落選し、地区代表1チームにて大会に参加しました。

落選した3チームの方々が応援に駆け付け、その目の前で優勝出来とても感激しています。

グラウンドゴルフは地の利が大きく、会場の多目的運動公園広場でいつも練習している地元のチームには絶対に勝てないと思っていましたのでなうれしいです。

私どもの新吉田町会は、住民同士がお互いに助け合い、協力し合う地域社会をつくる為、昨年4月に主にグラウンドゴルフとペタンクの練習を行うクラブ「さわやかスポーツ愛好会」を立ち上げました。現在会員が26名いますが、その練習の成果が今回の優勝につながったのだと思えます。

一昨年のペタンクと今回のグラウンドゴルフの優

勝で2冠を達成し光栄です。

終わりにあたり、今大会の運営にてお世話になりました関係者各位及び体育指導委員の皆様から心から感謝申し上げます。



▲GG大会の様子

第24回港北区グラウンドゴルフ大会 結果

地区対抗成績 ※12名の合計スコア (PAR576)

優勝	網島	544
準優勝	城郷	553
3位	樽町	554

チーム対抗成績 ※6名の合計スコア (PAR288)

優勝	新吉田町会A	257
準優勝	網島Aチーム	261
3位	鶴ねんクラブA	264

男性ハイスコア賞 (PAR48)

新吉田町会A	碓谷 久志	31
--------	-------	----

女性ハイスコア賞 (PAR48)

親友会B	宇佐見 和美	38
------	--------	----

ブービー賞 (PAR48)

新吉田自治会チーム	望月 安江	65
-----------	-------	----

ホールインワン賞

師岡GG-B	橋谷田 文夫
まめどB	阿部 和子
大倉山GG会A	貴田 喜之助
大曾根B	清水 茂子
ラビッツB	粕谷 元則
常盤会GG同好会	鬼嶋 貞夫
まめどA	山崎 房之亮

インタビュー

今回は、第24回港北区グラウンドゴルフ大会で見事にハイスコア賞を獲得された、新吉田町会Aチームの碓谷さんに、上手くなる秘訣を聞いてみました

大塚：グラウンドゴルフ大会チーム優勝とハイスコア賞のダブル受賞おめでとうございます。

碓谷：ありがとうございます。

大塚：まずは、感想をお聞かせください。

碓谷：去年は5位でしたから、今年はさらに上の3位狙いでした。ところが、チーム優勝。さらに、ハイスコア賞（ホールインワン3回あり）が取れてとてもうれしいです。難しいとは思いますが、連覇を狙いたいです。

大塚：グラウンドゴルフを始めたきっかけは？

碓谷：4年前の町会の大会に参加。（奥様の代理で出場されたそうです）初体験でしたが、1位を取ってしまいそれ以来、続けています。まあ、スポーツ好きですし、若い頃ゴルフをやっていたからすんなり入れました。

大塚：練習はどの位していますか？

碓谷：毎週、土日に仲間と練習しています。今では70代～50代が26人集まってクラブを立ち上げ活動しています。5月と8月はベタンクの練習に切り替えますけど。

大塚：初心者へのアドバイスなどいただけますか。

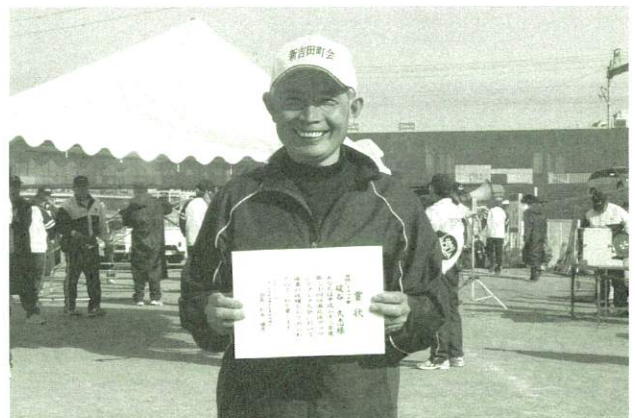
碓谷：ホールポストに向い、まっすぐに立ちまっす

ぐに打つ。う～ん、こりゃ難しいですね。あと、2打目を大切にすることですね。とにかく、まずはやってみてください。きっと、楽しめると思いますよ。

大塚：最後に、グラウンドゴルフの魅力は？

碓谷：だれでも始められて、楽しく健康的に地域の人との交流ができて、自分の世界が広がる素晴らしいスポーツだと思います。

大塚：お忙しいところ、ありがとうございました。以上



▲ハイスコア賞 碓谷さん

編集後記

第27期の広報委員会では、35号からこの40号までの「活き生き体指」を発行いたしました。多くの皆さまに原稿を依頼させていただき、快くお引き受けいただいたことに感謝申し上げます。

記事を振り返りますと、21年度は新型インフルエンザ、22年度は「暑さ」と「寒さ」への対策に大変苦慮されながらも、区政70周年記念の各事業をはじめとして、各地区の活動にも精力的に取り組まれた様子が伺えます。

この「活き生き体指」が皆様のお手元に届く頃は、新しい体指のメンバーも加わって第28期の活動に取り組まれていることと思います。様々な取り組みの参考に、あるいは、体指の活動を知っていただくためにもバックナンバーも含めて「活き生き体指」を活用いただければと思います。

最後に、いつも万全な準備で広報委員会を支えてくださった事務局と精力的に執筆、校正、編集をしてくださった13人の広報委員に心より感謝いたします。小松 賢吉